

## 60歳からのフォーミュラカーレースチャレンジ

この春、60歳でフォーミュラカーレースに挑戦を開始した男性がいます。大内田実さん(御藁町)。その名に聞き覚えのある人も少なからずいるのではないのでしょうか。そう、大内田さんは、かつて鈴鹿8耐や全日本選手権最高峰クラスで活躍したトップライダーです。

50歳を機に2輪レースを引退した大内田さん。しかし、本人の心から消えなかったのがモータースポーツへの熱い想いでした。昨年“鈴鹿産・鈴鹿発”のフォーミュラカーレース「フォーミュラEnjoy」の名門ガレージ「K&Gレーシング」の門をたたき、新たなチャレンジをスタートさせました。

3月1日(日)に鈴鹿サーキットで行われた今季第1戦。前日の公式予選で参加17台中9番手のタイムを記録し、上々のポジションからのぞんだ決勝レースでは、2度のスピンを喫しながらもみごと10位で完走。初の4輪レースを終えました。

還暦を過ぎても大内田さんのモータースポーツライフはますます輝きを増しています。

■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会事務局)



おうちだみのる  
大内田実さん

地域づくり  
研修生が  
つくる

地域のホットな情報をお届け

## 地域づくり Navi

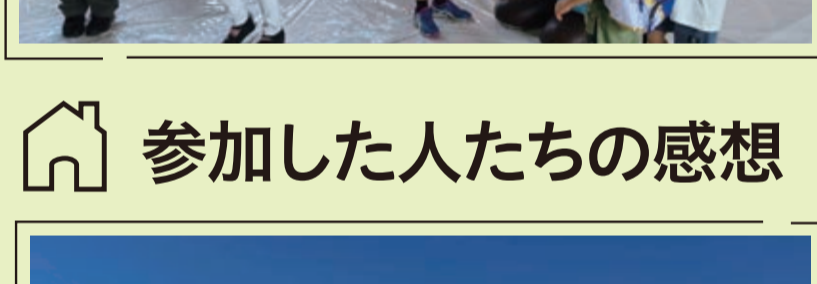
vol. 52

栄地区地域づくり協議会

## 「みんなで学ぼう災(祭)」

栄地区は伊勢湾、中ノ川、堀切川に囲まれており、津波や洪水の際は危険な地域です。また、高齢者が多く、災害時の準備や避難方法を心配に思われている方がいます。

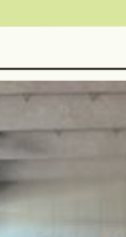
防災クイズなど、こどもから大人まで楽しめる企画を盛り込むことで、防災を意識するきっかけや幅広い世代の交流を深める場になればという思いで開催しています。



## 参加した人たちの感想



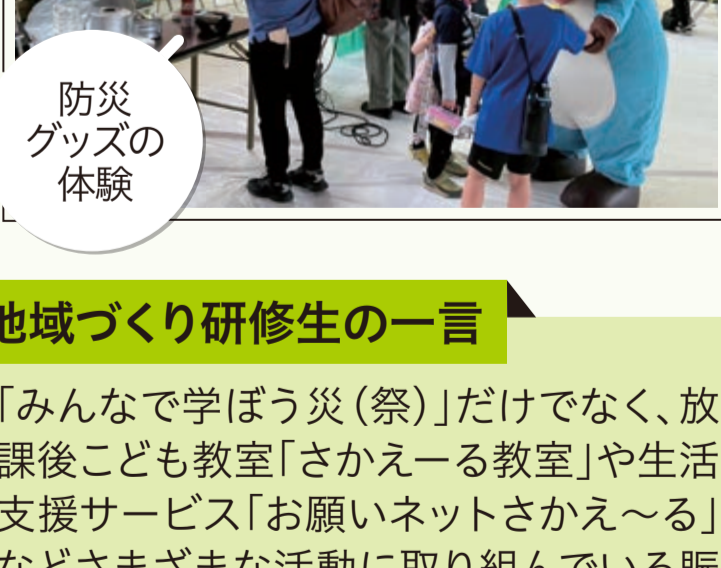
「防災について学べただけでなく、こどもから大人まで楽しめるイベントになっており家族で楽しむことができました」「天栄中学校まで防災バッグを背負って歩いたので疲れたけど防災を意識する良いきっかけになりました」などの感想がありました。



## 地域づくり Photo



防災講話



防災グッズの体験

## 地域づくり研修生の一言

「みんなで学ぼう災(祭)」だけでなく、放課後こども教室「さかえーる教室」や生活支援サービス「お願いネットさかえ〜る」などさまざまな活動に取り組んでいる賑やかな協議会です。

問合せ 地域協働課 ☎059-382-8695

購読のお申し込みは、お近くの販売店へ。  
お問い合わせは、伊勢新聞社へ。(☎059-224-4400)

●広報すずか ●鈴鹿市ウェブ **広告募集中**

ご相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先 ※お問い合わせ時に掲載広告枠が埋まっている場合もございます。悪しからずご了承ください。  
株式会社 亜細亜エンタープライズ  
〒513-1124 三重県鈴鹿市自由ヶ丘一丁目17番1号  
TEL 059-374-0170 FAX 059-374-3718  
担当：竹尾 pacific.take@gmail.com